

家畜保健衛生所獣医師 の仕事

1 家保の紹介

2 家保の業務

- (1) 家畜伝染病の発生予防、まん延防止
- (2) 疾病の診断や発生原因の究明
- (3) 安全・安心な畜産物生産に関する指導
- (4) 家畜衛生の向上、知識の普及
- (5) スキルアップ

1 家保の紹介

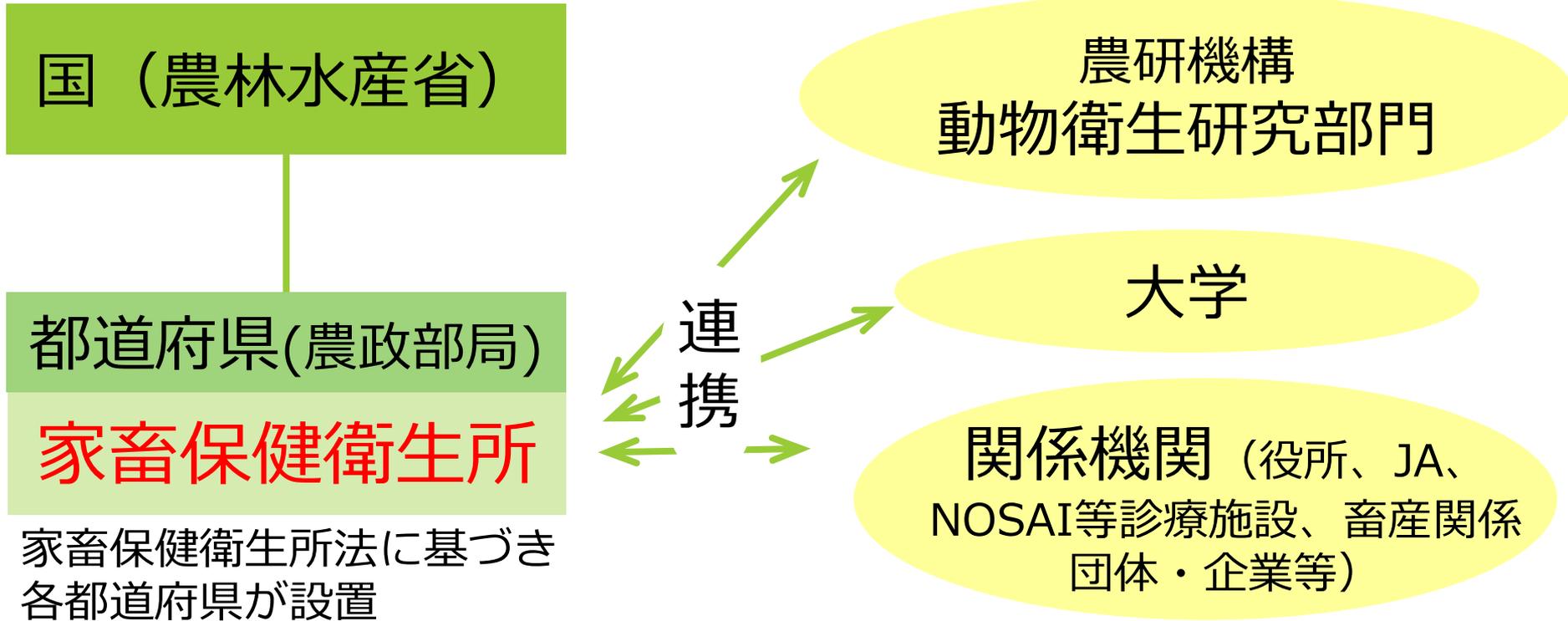
まずはじめに・・・

種類	北海道	全 国	全国シェア	
乳用牛	80 万	133 万	60.1%	1 位
肉用牛	51 万	250 万	20.5%	1 位
馬	2.7 万	6.9 万	39.1%	1 位
豚	69 万	916 万	7.6%	3 位
採卵鶏	669 万	18,492 万	3.6%	11 位
肉用鶏	492 万	13,823 万	3.6%	5 位

2019.2.1時点

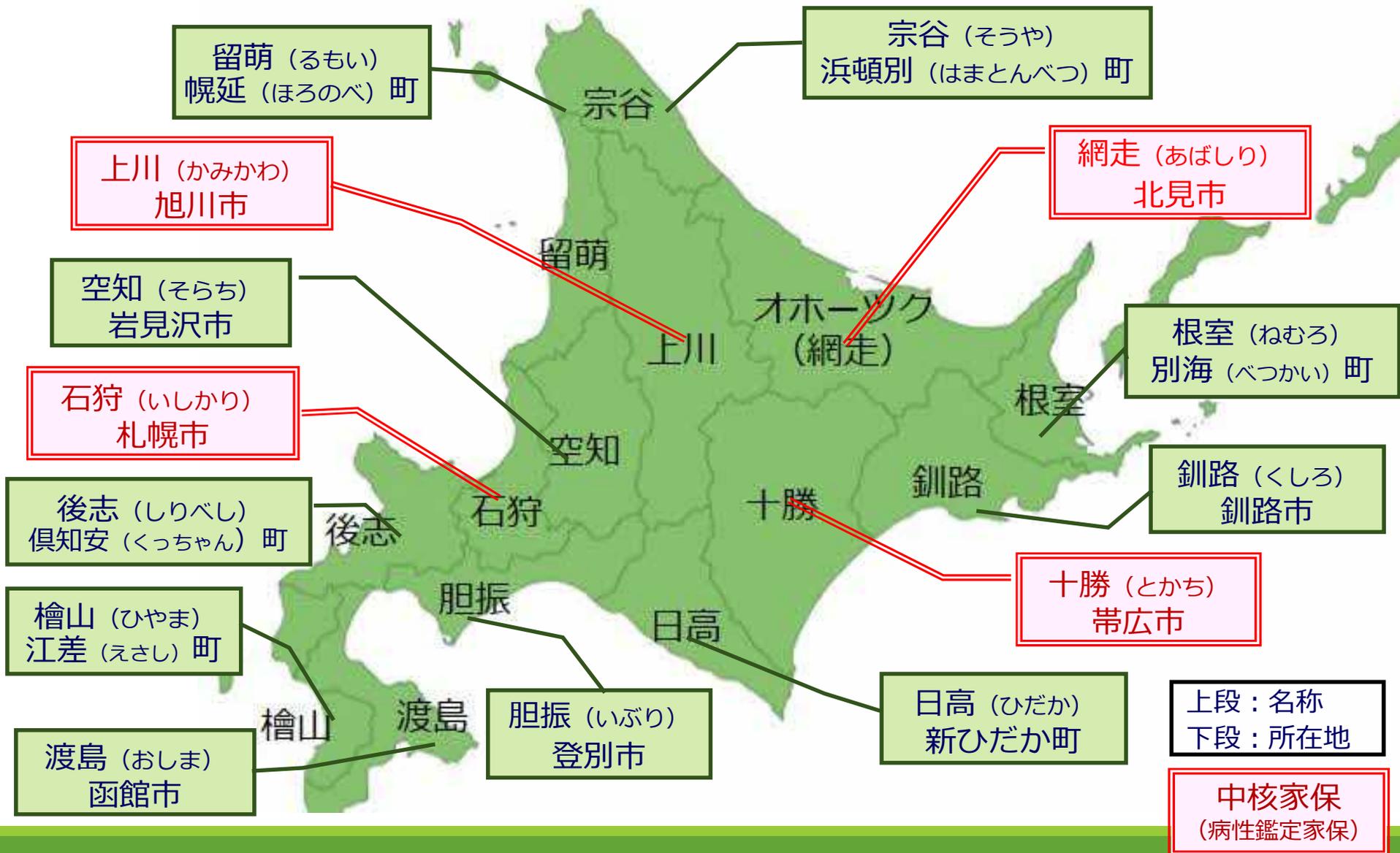
北海道の畜産は日本の要！

家畜保健衛生所の位置づけ



	北海道	全国	北海道の比率
設置箇所数	14力所	164力所	8.5% (全国1位)
職員数	182名 (定数)	2,381名	7.9% (全国1位)

北海道の家畜保健衛生所（14カ所）





石狩家保



十勝家保



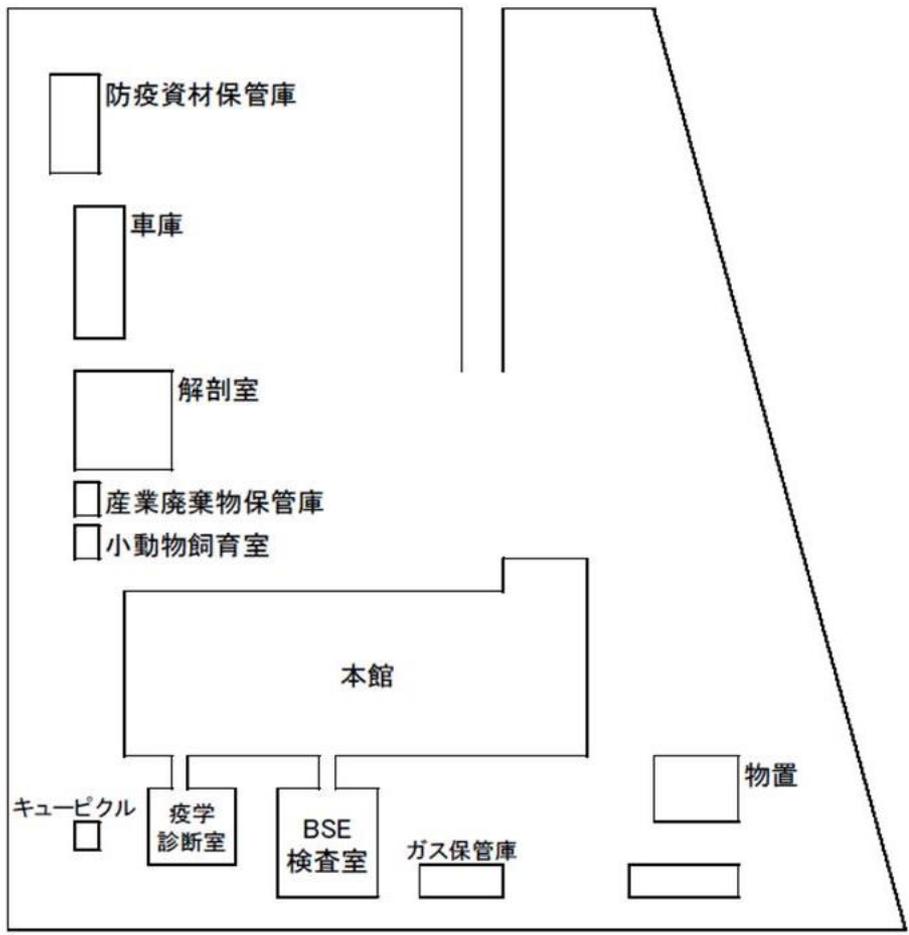
日高家保



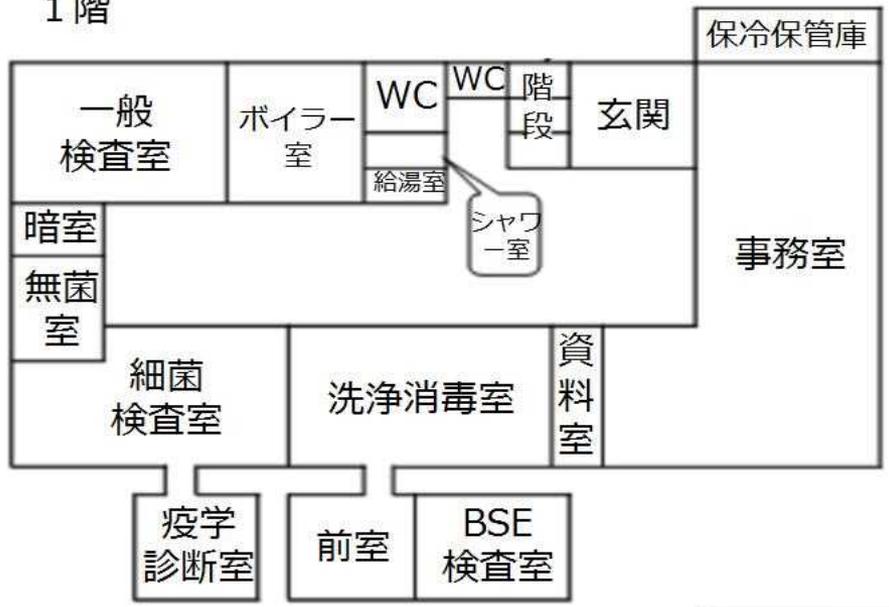
留萌家保

家畜保健衛生所庁舎 (例：石狩家保)

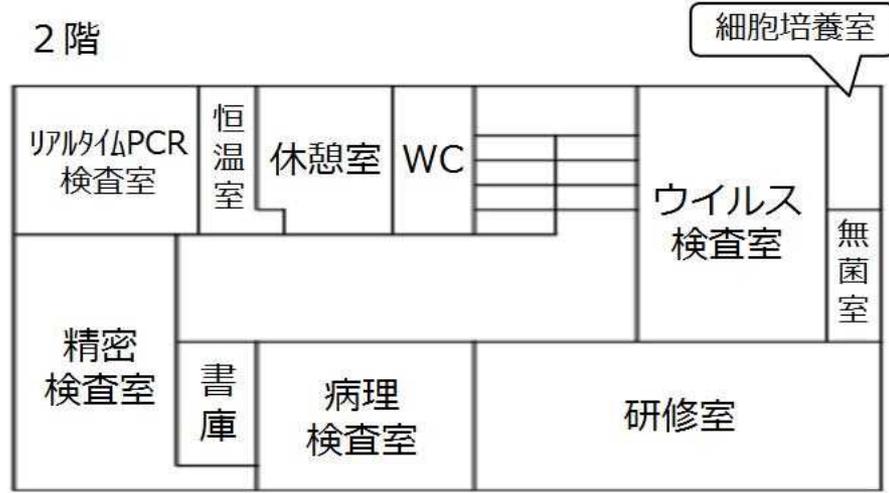
← 札幌 国道36号線 千歳 →



1階



2階



北海道の家畜保健衛生所の組織体制

体制	機構図				該当家保	
3課1室制	所長	次長	指導課長	主査	一般職員	網走、十勝
			予防課長	主査	一般職員	
			病性鑑定課長	主査	一般職員	
			BSE検査室長		一般職員	
3課制	所長	次長	指導課長	主査	一般職員	石狩、上川
			予防課長	主査	一般職員	
			病性鑑定課長	主査	一般職員	
2課1室制	所長	次長	指導課長	主査	一般職員	空知 根室 (BSE主査あり)
			予防課長	主査	一般職員	
			BSE検査室長	(主査)	一般職員	
2課制	所長	次長	指導課長	主査	一般職員	宗谷、胆振 日高、釧路
			予防課長	主査	一般職員	
次長1室制	所長	次長		主査	一般職員	渡島、留萌
			BSE検査室長		一般職員	
次長制	所長	次長		主査	一般職員	檜山、後志

2 家保の業務

(1) 家畜伝染病の発生予防、まん延防止

ヨーネ病、結核病、ブルセラ病、BSE

豚熱

蜜蜂の腐蛆病

高病原性鳥インフルエンザ



採材 → 検査・診断 →
陽性の場合の防疫対応、
現場の衛生指導まで実施

発生させないための飼養衛生管理の指導



発生に備えた関係機関との防疫訓練



(2) 疾病の診断や発生原因の究明

下痢をする子牛が増えています



農家や診療獣医師

原因検索：サルモネラと診断



関係機関と対策実施
(検査、治療、消毒、環境整備)



終息



診断して終わりではなく、結果を元に現場の状況の改善まで実施

(3) 安全・安心な畜産物生産に関する指導

抗菌性物質等の残留防止

例：畜産物への残留事例発生時の現地指導

薬剤耐性対策

例：薬剤感受性試験結果を元に抗菌剤の慎重使用を
獣医師・生産者等に指導

動物用医薬品等の適正流通

例：販売業者の許可事務、巡回指導



(4) 家畜衛生の向上、知識の普及



講習会・研修会



広報 (広報誌・WEB)



学会発表

ある子育て中の女性予防課職員の一日常

5:00 起床

朝食準備→余裕があれば朝活・夕食仕込
子供を起こして食べさせる

7:00 家を出発

子供を保育園へ送るのはお父さん



8:00 勤務開始 (時差出勤45分早出)

9:00 外勤

公用車でA町へ

酪農場4戸で、採血等実施



13:00 昼食後帰庁 片付け・材料処理

検査室でELISA検査

16:00 事務処理 結果をA町役場に電話連絡

16:45 業務終了 (時差出勤45分早上がり)



18:00 帰宅

保育園に子供のお迎え

22:00 就寝

子供と夕食、入浴、団らん



ある指導課職員の日

出勤

8:45

午前

振興局職員とともに、
動物用医薬品販売業者の
巡回指導



12:00

昼食 (地元で人気の食堂)

事務処理

午後

病理解剖→寄生虫検査の
手伝い



17:30

勤務終了

ある病性鑑定課職員の日

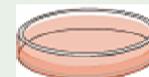
出勤

牛のサルモネラ症発生農場
で採材、終了後農場主・関
係機関と今後の対策打合せ

昼食 (家保の近くの定食屋)



サルモネラ培養検査



事務処理

勤務終了

仕事が忙しいときは残業もありますが、ワークライフバランスが重視されているので、メリハリをつけた働き方が求められています。

新型コロナウイルス感染症対策で在宅勤務、時差出勤も活用しています。

(5) スキルアップ

公務員としての職務遂行能力の向上

<採用 1 年目> ・新採用研修



<採用 5 年目頃> ・主任級研修



<中堅クラス> ・主査級研修



<管理職クラス> ・主幹級研修
・課長級研修

全職員を対象とした階層別研修の他
能力開発向上のための様々な研修

①就職後の研修制度

獣医師としての専門知識・技術習得

- ・行政基礎研修（家畜衛生関連法規）
- ・病性鑑定技術基礎研修
- ・自主企画研修

農研機構動物衛生研究部門で受講するもの

- ・基本・特殊講習会（2～3週間）
：牛・豚・鶏疾病などの研修
- ・長期研修（7カ月間）
：病性鑑定専門分野の研修
- ・研修会（1週間）
：病性鑑定専門分野の事例検討等
- ・獣医疫学、海外悪性伝染病（2週間）
- ・総合講習会
：管理職への家畜衛生情勢の研修

その他

- ・各種学会等に参加
- ・全道の家保職員が集まり専門分野（ウイルス、細菌、病理、生化学、寄生虫）の技術検討会を毎年開催

スキルアップ ②学術発表

家畜保健衛生業績発表会

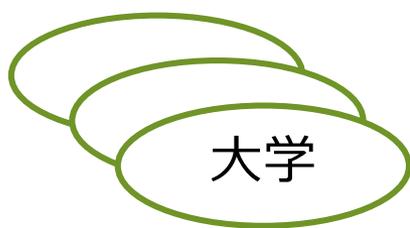
家畜衛生に関する企画推進、調査、検査、試験等の成績を取りまとめて発表（毎年） 優秀演題は、北海道 → ブロック → 全国へ

学会等発表

獣医学術北海道地区学会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会
日本獣医学会学術集会、 その他、各種学会、研究会、講習会等



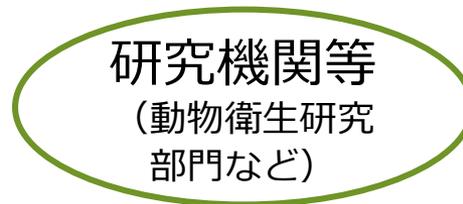
業績発表集録に記録、各学会誌や専門誌へ投稿



連携
協力



連携
協力



- 家保の獣医師の使命は、家畜の伝染病による被害防止と畜産物の安全性の確保による畜産の振興です。
- 時には家畜の命を奪わなければならない場面もありますが、そのような事態を未然に防ぐための発生予防、万が一の発生時には被害を最小限に抑えるための防疫が重要な仕事です。
- 獣医学的な知識に基づく伝染病の診断技術、家畜衛生の指導にはコミュニケーション力、有事の際にはリーダーシップが求められます。

家畜衛生のプロとして畜産を支える
重要でやりがいのある仕事です！

北海道の家畜保健衛生所で 一緒に働きませんか？

採用試験やインターンシップの
最新情報は道庁ウェブサイトで確認！
就職説明会（オンライン）も開催します！

電話でも気軽にお問い合わせください

北海道 農政部 生産振興局 畜産振興課 家畜衛生係
Tel：011-204-5441（直通）